

ソウル都城ハイキング

飛田雄一 (『むくげ通信』288号 2018.5.27 より)



ソウル漢城都城観光案内地図

むくげ洪城合宿は、信長たか子さんの報告にあるようにとても充実したものだった。プルム学園の洪淳明先生そして学園の60周年に来られていた李宰郁さん（春川在住）にお会いできましたこと、洪城の食事がすべておいしかったことなど最高でした。鄭萬哲さん、ほんとうにありがとうございました。

今回私は5泊6日の旅となった。洪城の前にソウルでけっこういろいろ用事があった。初日4月18日（水）さっそく金希ジョンさんと一献。金さんはセンター朝鮮語講座元講師、そして脇本寿『朝鮮人強制連行とわたし—川崎昭和電工朝鮮人宿舎・倉監の記録』（1994.6、センター出版部）の翻訳者（日本語→韓国語）だ。いま「ワンコリアフェスティバル」をテーマに博士論文を書かれている。

もうひとつは19日（木）むくげの会と提携協定を結んでいる東国大学日本学研究所で講演、テーマは、「神戸学生青年センターとむくげの会、そして私」。むくげゲストディに来てくださった元朝日新聞記者・成川彩さんの紹介で提携関係を結びまた今回の講演となった。韓国語で講演すべく意気込んで行ったが、みなさん日本語ができるということで残念ながら（？）日本語で行った。



東国大学での講演会が終わりました

そしてもうひとつの目的が、都城ハイキングだ。都城は、高さ平均7~8m、全長18.6kmで、すでに東大門から駱城の城壁を少し歩いたことがある。通信に書いていると思って探してみたが見つからない。書いていてないようだ。

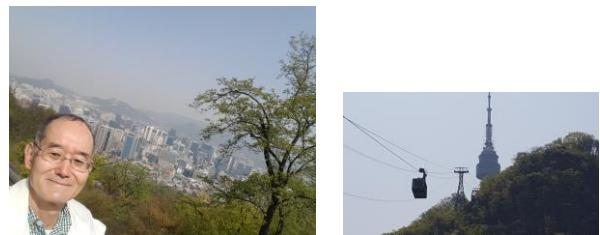
今回は2か所を登った。19日、地下鉄東国大入口から都城を南山タワーまで登った。道はよく整備されている。城壁の中か外（一部は両方）に道がついている。途中一部で城壁を外れるコースとなっているが、それも城壁内のすてきな散歩路だ。このコースは、左の地図に南大門までが4.6km、2時間30分、1104kcalである。南山タワーまではその半分弱だ。南山タワーから南大門までは、私は歩いていないが、城壁がつながってなくて歩きにくいようだ。



入口にきれいな掲示板があります／だいぶ登りました。



南山タワーが見えてきました



南山から次回登りたい白岳山がみえます（？）／ロープウェイで降りました／ちなみに日本のロープウェイは韓国ではケーブルカーです。

翌20日（金）には、仁王山339.9Mに登った。地下鉄景福宮駅から東に歩き都城を北上する。といつても、登山道の入口がけっこう分かりにくい。南山コースは散歩ないしハイキングという感じだが、このコースは結構“登山”という感じだ。



入り口の掲示／右の有刺鉄線の下は青瓦台

しばらく登ると右下が大統領官邸・青瓦台というところがある。ちゃんとそれなりの有刺鉄線がはらされている。兵隊の姿は見えなかった。登りは城壁の内側の道を登った。内側の道から見える城壁は最近作られた新しいものが多い。しかしこれは帰路、城壁の外側の道を下って分かったことだが、城壁の上部は新しく作られたものが多いが、城壁の外側は古い威厳のある城壁が残っている。このコースを登られる人は城内コースと城外コースの両方を歩かれるをお勧めする。ただ城外コースがあるのは、仁王山までの道の下から3分の1程度である。標高が上がるとさすが（？）城外は絶壁だ。結構急な道をひたすら登ることになる。前日のビールが、だんだんと消えていく。



城壁の上の部分は新しく作られています

山上らしきところに着いた。が、看板がない。いつも看板の前でスマホで自撮りすることになっているのだ。まだ先に山頂があるのかと思って更に進んでみた。細い巻き道のような登山道が続いている。向うから来た登山客に仁王山の頂上はどこですかと聞くと、先ほどのところが山頂のことだ。引き返した。そしたら三角点があった。

買ってきましたキンパップを食べ、眺望を楽しんだのち来た道を下山した。先に述べたように一部は城外の道を歩いた。先の地図によると私が歩いた仁王山から更に彰義門までが、3.1km、2時間、705Kcalとなっている。私が歩いたのはその半分ぐらいだ。

実は私がこの仁王山に登ろうとしたのには、特別の理由があった。西大门刑務所に関係することだ。

1999年7月、センターの「東学の道」ツアードアコンでしたが、その時ソウルで西大门刑務所を訪ねた。ツアーアルバムを同行してくださった故金正一牧師と趙徳熙牧師が案内してくださったのだが、趙牧師が展示を見て急に怒りだしたのである。



これが仁王山山頂



三角点／右の写真の岩の上にありました

ここには韓国民主化闘争で捕まった人々がたくさん入れられていたのに、植民地時代の日本のことしか展示されていない、許せないというのである。そしていろんな話を聞かせてくださった。その中で特に印象的だったのが、毎年正月の朝、刑務所の北東の山から仲間が大声で新年のあいさつをし、刑務所内からそれに大声で答えるというのである。刑務所から岩山が見えるが、それが仁王山ではないかと考えていたのである。今回、仁王山に登ってみて分かったがそれは別の山だった。仁王山と刑務所の間にはまだ山があったのである。仁王山から刑務所を見ることができなかったのは残念だが、別の山だということが分かったのでそれでいいとしよう。次の機会に刑務所から見える山に登ってみたいと思う。

私は、このソウル都城を完全に一周したいと思っている。全長18.6kmだから一日で回ることもできる。インターネットをみると以下のようないこースタイムで一周している人もいる。

ソウル駅06:40／07:26南山(ソウルタワー)07:28／08:48、興仁之門(東大門)09:01／10:16肅靖門(北大門)10:43白岳山10:45／11:00彰義門11:01／11:36仁王山11:39／12:10敦義門(西大門)12:24徳寿宮13:00崇礼門(南大門) <https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1112298.html>

北の部分は、軍事上も重要な地域で検問所もあり、パスポート必携の登山コースとなっているようだ。一日に一周はしんどそうなのでないが、この北の部分を次回は登って見たいと思う。